

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 GMB(株)
 コード番号 7214 URL http://www.gmb.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 松岡 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 阪口 有一
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 大

TEL 0745-44-1911

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 9,723 | — | 759 | — | 819 | — | 437 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 10,760 | 3.0 | 859 | △12.1 | 877 | △7.0 | 375 | △6.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 83.92 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 72.06 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|---|----------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 38,561 | — | 19,328 | — | 40.8 | — | 3,017.73 | — |
| 20年3月期 | 42,451 | — | 21,561 | — | 39.1 | — | 3,181.77 | — |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 15,727百万円 20年3月期 16,582百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | 17.50 | — | 17.50 | 35.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | 17.50 | — | 17.50 | 35.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 第2四半期連結累計期間 | 21,300 | — | 1,550 | — | 1,570 | — | 660 | — | 126.63 | — |
| 通期 | 43,000 | △2.7 | 2,700 | △9.6 | 2,750 | △0.8 | 1,200 | △0.7 | 230.24 | — |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第1四半期 | 5,212,440株 | 20年3月期 | 5,212,440株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第1四半期 | 683株 | 20年3月期 | 575株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第1四半期 | 5,211,831株 | 20年3月期第1四半期 | 5,211,865株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における経済状況は、世界的な金融市場の混乱と原油や鉄鋼製品などの素材価格の高止まりなどにより、わが国を含めた先進国を中心に景気は減速傾向に向かっていますが、新興国においては依然として経済成長を維持しております。また、自動車業界においても、先進国の販売が低迷し新興国の販売が辛うじて拡大傾向にある状況であります。

このような環境の中、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において販売強化に努めた結果、欧州向けの販売が増加するなど概ね順調に推移いたしました。また、原材料価格の上昇をコスト削減努力と製品価格へ転嫁することにより吸収すべく尽力致しました。

さらに、在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高が9,723百万円（前年同期比9.6%減）となり、営業利益は759百万円（同11.6%減）、経常利益は819百万円（同6.7%減）、四半期純利益は437百万円（同16.5%増）となりました。

当グループは単一セグメントであり、主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、中国生産拠点を活用した欧州向けユニバーサルジョイントの販売や、韓国新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が引き続き順調に推移したことなどにより、売上高は4,609百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

エンジン部品部門は、北米の補修用市場におけるウォーターポンプの販売減少もありましたが、欧州の補修用市場や韓国新車用部品の販売増加により、売上高は2,612百万円（同5.1%減）となりました。

ベアリングその他部門は、韓国子会社が生産するテンショナー・アイドラー・ベアリングの新車用部品での販売が減少したことなどにより、売上高は2,502百万円（同15.7%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

欧州向けの輸出が順調に推移するとともに、製品価格への価格転嫁や海外生産移管による生産合理化や経費削減に取り組んだ結果、売上高3,511百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益395百万円（同50.8%増）となりました。

②北米

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.においては、引き続き補修用部品の中国製品などとの価格競争のなかで売上高は減少し、販売経費の削減にも取り組みましたが、売上高572百万円（同32.6%減）、営業損失41百万円（前年同期営業損失52百万円）となりました。

③アジア

連結子会社のGMB KOREA CORP.においては、韓国自動車メーカーや系列部品メーカー向けの販売が減少するなか、海外を中心に他の部品メーカーなどへの販売が増加したため、全体ではほぼ横這いに推移しましたが、為替変動により円換算後の売上高は減少することとなりました。また、他の連結子会社を含め原材料価格の上昇を十分に吸収することができなかつたため、採算も悪化することとなりました。これらの結果、売上高5,639百万円（同15.1%減）、営業利益353百万円（同45.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は38,561百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,889百万円減少いたしました。純資産は19,328百万円で、自己資本比率は40.8%となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、仕入債務の減少額が586百万円となったことなどに加えて、有形固定資産の取得による支出が453百万円、子会社株式の取得による支出が502百万円となったなど支出が増加した結果、期末残高は441百万円減少して2,890百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は525百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が864百万円、減価償却費が560百万円となるなか、たな卸資産の増加額が695百万円、仕入債務の減少額が586百万円となったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は993百万円となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が453百万円、子会社株式の取得による支出が502百万円となったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は147百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、前回決算発表時（平成20年5月14日）に公表しました業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも変更はありません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ27,508千円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

なお、この修正において、当連結会計年度期首の利益剰余金が55,678千円減少しております。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

①有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を2~12年としておりましたが、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より2~9年に変更しました。

これにより、営業利益及び経常利益は14,419千円、税金等調整前四半期純利益は14,080千円、それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,407,471 | 4,901,041 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,607,868 | 7,882,678 |
| 商品及び製品 | 2,437,406 | 2,476,392 |
| 仕掛品 | 3,508,048 | 3,535,638 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,553,234 | 1,643,974 |
| 繰延税金資産 | 204,258 | 204,376 |
| その他 | 760,322 | 642,093 |
| 貸倒引当金 | △136,581 | △166,903 |
| 流動資産合計 | 19,342,030 | 21,119,292 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,864,334 | 4,364,521 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 7,112,008 | 8,154,604 |
| 土地 | 5,693,959 | 6,105,416 |
| 建設仮勘定 | 854,871 | 913,220 |
| その他 | 485,794 | 528,953 |
| 有形固定資産合計 | 18,010,968 | 20,066,716 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 75,522 | 82,387 |
| その他 | 254,262 | 256,954 |
| 無形固定資産合計 | 329,784 | 339,342 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 158,484 | 152,213 |
| 繰延税金資産 | 304,707 | 357,671 |
| その他 | 426,046 | 445,800 |
| 貸倒引当金 | △10,114 | △29,304 |
| 投資その他の資産合計 | 879,123 | 926,381 |
| 固定資産合計 | 19,219,876 | 21,332,439 |
| 資産合計 | 38,561,906 | 42,451,732 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,136,556 | 5,508,758 |
| 短期借入金 | 2,604,247 | 2,446,862 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,106,028 | 2,185,382 |
| 1年内償還予定の社債 | 900,000 | 900,000 |
| 未払法人税等 | 501,924 | 580,671 |
| 繰延税金負債 | 705,361 | 719,023 |
| 賞与引当金 | 80,268 | 213,037 |
| 製品保証引当金 | 235,280 | 284,643 |
| その他 | 2,096,525 | 2,211,075 |
| 流動負債合計 | 13,366,193 | 15,049,453 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,119,761 | 3,117,974 |
| 繰延税金負債 | 25,671 | — |
| 退職給付引当金 | 1,777,052 | 1,846,850 |
| 役員退職慰労引当金 | 318,200 | 312,400 |
| 負ののれん | 148,420 | — |
| その他 | 478,324 | 563,251 |
| 固定負債合計 | 5,867,429 | 5,840,476 |
| 負債合計 | 19,233,622 | 20,889,929 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 838,598 | 838,598 |
| 資本剰余金 | 988,000 | 988,000 |
| 利益剰余金 | 13,991,194 | 13,700,695 |
| 自己株式 | △1,636 | △1,510 |
| 株主資本合計 | 15,816,155 | 15,525,782 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 32,394 | 25,938 |
| 為替換算調整勘定 | △120,857 | 1,031,248 |
| 評価・換算差額等合計 | △88,463 | 1,057,186 |
| 少数株主持分 | 3,600,591 | 4,978,833 |
| 純資産合計 | 19,328,283 | 21,561,802 |
| 負債純資産合計 | 38,561,906 | 42,451,732 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 9,723,824 |
| 売上原価 | 7,638,970 |
| 売上総利益 | 2,084,853 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,325,212 |
| 営業利益 | 759,640 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 7,373 |
| 為替差益 | 96,813 |
| 受取保険金 | 1,815 |
| その他 | 25,408 |
| 営業外収益合計 | 131,411 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 53,009 |
| 手形売却損 | 8,555 |
| その他 | 10,379 |
| 営業外費用合計 | 71,945 |
| 経常利益 | 819,107 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 816 |
| 貸倒引当金戻入額 | 19,626 |
| 持分変動利益 | 20,381 |
| その他 | 7,069 |
| 特別利益合計 | 47,894 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 2,114 |
| 特別損失合計 | 2,114 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 864,886 |
| 法人税等 | 264,357 |
| 少数株主利益 | 163,143 |
| 四半期純利益 | 437,385 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

| | |
|----------------------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 864,886 |
| 減価償却費 | 560,501 |
| のれん償却額 | 6,865 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △19,976 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △132,768 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 228,252 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | △1,247 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 5,800 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,815 |
| 支払利息 | 53,009 |
| 為替差損益 (△は益) | 287,495 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 1,298 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 406,178 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △679,962 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △586,488 |
| その他 | △115,814 |
| 小計 | 869,216 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10,672 |
| 利息の支払額 | △49,262 |
| 法人税等の支払額 | △304,907 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 525,719 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △187,990 |
| 定期預金の払戻による収入 | 173,090 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △453,918 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,916 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △34,360 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △14 |
| 子会社株式の取得による支出 | △502,391 |
| 貸付けによる支出 | △4,414 |
| 貸付金の回収による収入 | 5,778 |
| その他 | 6,702 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △993,602 |

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

| | |
|----------------------|------------|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入れによる収入 | 1,476,328 |
| 短期借入金の返済による支出 | △1,145,348 |
| 長期借入れによる収入 | 660,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △643,561 |
| リース債務の返済による支出 | △32,768 |
| 配当金の支払額 | △86,538 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △80,019 |
| 自己株式の取得による支出 | △125 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 147,966 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △121,842 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △441,759 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,332,081 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,890,321 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

| | 日本 (千円) | 北米 (千円) | アジア (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|-----------------------|------------|------------|-------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 3,511,064 | 572,780 | 5,639,979 | 9,723,824 | — | 9,723,824 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 699,116 | 4,348 | 1,509,220 | 2,212,682 | (2,212,686) | — |
| 計 | 4,210,181 | 577,129 | 7,149,200 | 11,936,510 | (2,212,686) | 9,723,824 |
| 営業利益 (または営業損失(△)) | 395,805 | △41,381 | 353,065 | 707,489 | (52,151) | 759,640 |

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ

(2) 北米・・・アメリカ

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は24,121千円であり、その主なものは当社の財務・経理部等の管理部門に係る費用であります。

4. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第1四半期連結会計期間の日本の営業利益が27,508千円減少しております。

5. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「四半期連結財務諸表諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当社の機械装置については、従来、耐用年数を2～12年としておりましたが、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より2～9年に変更しました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第1四半期連結会計期間の日本の営業利益が14,419千円減少しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

| | アジア | 北米 | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|-----------|-----------|
| I 海外売上高（千円） | 5,868,961 | 845,457 | 1,434,423 | 8,148,842 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | — | 9,723,824 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 60.4 | 8.7 | 14.7 | 83.8 |

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しています。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ等

(2) 北米・・・アメリカ、カナダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|----------------|-------------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 10,760,022 |
| II 売上原価 | 8,509,448 |
| 売上総利益 | 2,250,573 |
| III 販売費及び一般管理費 | 1,390,849 |
| 営業利益 | 859,724 |
| IV 営業外収益 | |
| 1. 受取利息 | 9,540 |
| 2. 為替差益 | 88,002 |
| 3. その他 | 19,387 |
| 営業外収益合計 | 116,929 |
| V 営業外費用 | |
| 1. 支払利息 | 53,528 |
| 2. 手形売却損 | 22,523 |
| 3. その他 | 22,878 |
| 営業外費用合計 | 98,929 |
| 経常利益 | 87,724 |
| VI 特別利益 | |
| 1. 固定資産売却益 | 4,281 |
| 特別利益合計 | 4,281 |
| VII 特別損失 | |
| 1. 固定資産売却損 | 2,209 |
| 2. 固定資産除却損 | 4,421 |
| 特別損失合計 | 6,630 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 875,375 |
| 税金費用 | 287,224 |
| 四半期純利益 | 375,547 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|---------------------|-------------------------------|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前当期純利益 | 875,375 |
| 減価償却費 | 579,371 |
| のれん償却額 | 6,865 |
| 賞与引当金の減少額 | △124,250 |
| 役員賞与引当金の減少額 | △26,320 |
| 退職給付引当金の増加額 | 229,743 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10,886 |
| 支払利息 | 53,528 |
| 為替差益 | △66,486 |
| 有形固定資産除売却損 | 6,630 |
| 売上債権の減少額 | 168,078 |
| たな卸資産の増加額 | △570,993 |
| 仕入債務の増加額 | 128,605 |
| その他 | △409,583 |
| 小計 | 839,678 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,555 |
| 利息の支払額 | △47,926 |
| 法人税等の支払額 | △277,975 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 520,332 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △311,750 |
| 定期預金の払戻による収入 | 213,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △556,983 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 10,750 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △8,745 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 39,754 |
| その他 | △1,519 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △615,495 |

| | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|----------------------|-------------------------------|
| 区分 | 金額(千円) |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入れによる収入 | 1,646,091 |
| 短期借入金の返済による支出 | △1,335,398 |
| 長期借入れによる収入 | 160,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △529,332 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 153,993 |
| リース債務の返済による支出 | △45,303 |
| 配当金の支払額 | △78,177 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △96,875 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △125,002 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 26,076 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | △194,088 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,156,806 |
| VII 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,962,717 |

(3) 所在地別セグメント情報

前年同四半期(平成20年3月期第1四半期)

| | 日本 (千円) | 北米 (千円) | アジア (千円) | 計(千円) | 消去又は全 社(千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|------------|------------|-------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 3,268,835 | 850,095 | 6,641,291 | 10,760,022 | — | 10,760,022 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 705,076 | 5,613 | 1,443,546 | 2,154,235 | (2,154,235) | — |
| 計 | 3,973,711 | 855,708 | 8,084,837 | 12,914,257 | (2,154,235) | 10,760,022 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 262,385 | △52,622 | 650,988 | 860,751 | (1,027) | 859,724 |